

行事／取組名称	プレチャレンジ in 大阪		
担当者	近藤泰洋、味野道信、原田 勲（JPh0）、石橋太郎、榎村博仁(大阪星光学院)		
開催日時・期間	平成 28 年 1 月 23 日（土） 13 時 30 分～17 時 00 分	会場	大阪星光学院（大阪市）
主 催	物理オリンピック日本委員会 （JPh0）	後援	
共 催			
協 賛			
概要			
大阪星光学院からは、平成 25 年， 26 年， 27 年と連続して国際物理オリンピック（ IPh0 ）日本代表者を送り出している。この様に、同学院の IPh0 に関する関心は強く、先生方も物理チャレンジの実験器具を購入するなどして生徒達がより IPh0 に関心を持つよう努力されている。 今回のプレチャレンジ in 大阪は、それらの活動の支援を目指して実施されたが、今回参加の中・高生達はプレチャレンジを通して物理への興味を深め、国内の物理チャレンジ大会や IPh0 への挑戦意欲を一層高める効果を上げたものと思っている。			
参加者	教員	高校生	中学生
教員 2 名		12 名（中 3 生を含む）	28 名（中 1， 2 生）

報告事項
今回大阪星光学院は、特に中学生や高校 1, 2 年生で物理に関心のある生徒を中心にプレチャレンジへの参加者を募り、時間的余裕を持って IPhO 参加者や物理愛好者を育成しようと企画された。この活動は、「理数分野で卓越した意欲・能力を有する生徒を発掘し、その意欲・能力をさらに伸ばす取組を行うことで、国際的に活躍できる科学者、科学技術者の育成を目指す」という JPhO の趣旨に整合し、JPhO はこの活動を支援するためにプレチャレンジ in 大阪を開催した。 プレチャレンジ in 大阪は下記のスケジュールで行われた。最初に原田が物理チャレンジや IPhO の紹介、実験レポートの書き方について合同で講義した後、低学年と高学年に分かれて過去のチャレンジ実験器具を用いた実験を実施した。低学年クラスでは、味野が偏光に関する実験 (2010 年の問題の一部) を行い、高学年クラスでは、近藤が LED を用いた光の実験 (2005 年の実験問題の一部) を実施した。いずれのクラスでも、物理未履修などにより内容はあまり理解出来ない生徒達も多い中、それでも普段あまり触らないような実験器具に興味深げに操作し、指導者の指示に従って最後の測定まで頑張る姿が印象的であった： 13 : 30 - 13 : 40 開会 13 : 40 - 14 : 10 物理チャレンジ・物理オリンピックの紹介 (原田) 14 : 10 - 14 : 40 物理への誘い、実験 レポートの書き方 など (原田) 14 : 40 - 14 : 50 休憩 14 : 50 - 16 : 50 偏光に関する実験 (2010 年の問題の一部) (味野) 14 : 50 - 16 : 50 LED を用いた光の実験 (2005 年の実験問題) (近藤) 16 : 50 - 17 : 00 閉会 多くの参加者は、物理的内容を十分理解出来ない中でも、プレチャレンジで見たり聞いたりした物理的現象とその背後にある簡単な法則に興味を示したようで、これらの参加者に物理への興味を喚起するに十分であったと自負している。 最後に、このようなイベントを通じ生徒達に科学現象に対する興味を持たせる取り組みを継続されている大阪星光学院に、敬意を払うとともに感謝を申し上げる。

プレチャレンジの風景

